

平成 30 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

- ヒートポンプで低 LCC と高 COP を実現する下水熱融雪システムに関する研究（興和・積水化学工業・新潟市共同研究体）

実証施設の設置が完了し、データの取得や整理が進み、当初の目的に対して一定の成果が得られた。

今後は、降雪時等のさらなるデータ蓄積、低水深時における採熱能力の確認、放熱管埋設深の検証、総費用（年価換算値）の縮減効果の確認、本技術の適用範囲や適用条件の確認等が必要なことから、平成 31 年度も引き続き研究を実施し、ガイドライン化を図ることが望ましい。